

[認知症対応型共同生活介護用]

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 11 月 13 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3610310108
法人名	医療法人 道志社
事業所名	グループホーム小松島
所在地	徳島県小松島市田浦町近里84-2 (電話) 0885-33-1857

評価機関名	徳島県社会福祉協議会
所在地	徳島県徳島市中昭和町1丁目2番地
訪問調査日	平成 20 年 11 月 6 日

【情報提供票より】(平成 20 年 10 月 20 日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 3 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤:15人、非常勤:2人、常勤換算:1F 8.6人、2F 7.4人	

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階 部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	実費	
敷 金	有( 円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有の場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	350 円
	夕食	350 円	おやつ	0 円
	または1日当たり 900 円			

## (4) 利用者の概要 (平成 20 年 10 月 20 日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名
要介護1	7 名	要介護2	4 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84 歳	最低	74 歳	最高	99 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	小松島病院
---------	-------

徳島県 グループホーム小松島

1

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は母体医療法人である病院の敷地の一角にあり、協力医の定期的な訪問診療や日常的な健康管理、緊急時の対応など適切な医療が受けられ、利用者や家族の安心に繋がっている。職員は毎日、散歩や買い物など利用者の外出支援に努めている。ホームでは利用者と職員が共に家庭的で和やかな雰囲気の中で過ごしている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と今後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価での主な課題である「地域密着型サービスとしての理念」、「運営推進会議を活かした取り組み」、「家族等への報告」、「職員を育てる取り組み」は改善されている。「重度化や終末期に向けた方針の共有」、「鍵をかけないケアの実践」、「災害対策」については、改善するまでには至っていない。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者や職員はサービス評価の意義や目的を理解し、全職員で自己評価を行うなどサービスの質の向上に向けた取り組みがなされている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2か月に1回開催し、利用者や家族、地域住民、市担当職員、協力医療機関職員、管理者、職員で構成されている。会議では利用者の状況や行事予定などの報告、外部評価やターミナルケア等をテーマとした話し合いが行われている。また参加者からの質問や家族の希望・要望などについて話し合い、運営やサービスの質の向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	玄関に意見箱を設置したり、運営推進会議や面会時に意見や要望を出してもらえよう家族に働きかけたりしている。出された要望などは記録し、課題を検討するなどサービスの質の向上に向けた取り組みがなされている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近隣施設の行事に利用者や家族、高校生ボランティアと参加したり、月初めに事業所周辺の清掃活動に参加したりしている。また絵本読みやギターの弾き語り、踊りなどのボランティアの来訪がある。3か月ごとに母体法人が発行する広報誌に行事予定を掲載し、積極的に地域交流を行っている。

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくことを支援するため、「家庭的な温もりと優しさ、そして地域と共に」と事業所独自の理念をつくっている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は理念やケア方針を会議などで職員と話し合い、理念を共有し、日々のサービス現場に反映するなど、実践的な取り組みがなされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣施設の行事に利用者や家族、高校生ボランティアと参加したり、月初めに事業所周辺の清掃活動に参加したりしている。また絵本読みやギターの弾き語り、踊りなどのボランティアの来訪がある。3か月ごとに母体法人が発行する広報誌に行事予定を掲載し、積極的に地域交流を行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者や職員はサービス評価の意義や目的を理解し、全職員で自己評価を行っている。また前回評価での課題の改善に取り組み、サービスの質の向上に活かしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1回開催し、利用者や家族、地域住民、市担当職員、協力医療機関職員、管理者、職員で構成されている。会議では利用者の状況や行事予定などの報告、外部評価やターミナルケア等をテーマとした話し合いが行われている。また参加者からの質問や家族の希望・要望などについて話し合い、運営やサービスの質の向上に活かしている。内容は記録に残して回覧し、全職員の確認印・サインがある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	管理者は市役所に出向いて報告書等を直接手渡し、情報収集や意見交換を行っている。また市が開催する介護相談員の勉強会に参加するなどサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、利用者の暮らしぶりや健康状態について写真を添えて家族に伝え、来訪時にも報告されている。金銭出納簿は毎月、家族に現状を説明し、確認印をもらっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や運営推進会議などで家族の意見や要望等を出してもらえるよう配慮している。出された意見などは全職員で検討し、改善策を家族に報告するなどの取り組みを行っている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は最小限に抑えている。各ユニットに職員を固定し、利用者が馴染みの関係による支援を受けられるよう配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員の資質向上に熱意を持ち、各自の段階に応じた研修への参加を支援している。隣接する母体病院では各種研修会が定期的開催され、職員も学ぶ機会が多い。研修内容は記録し、報告書を全職員に回覧して確認印をもらっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は同業者との交流や連携の必要性をよく認識し、グループホーム協会による相互評価事業に参加したり、職員の相互訪問を積極的に行うなどケアサービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族に事業所を見学してもらい、利用者の希望や不安など知り、安心してホームの生活に馴染んでもらえるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者から料理などを教えてもらったり、生活する中で利用者と喜怒哀楽を共感し合うなど、共に過ごし支え合う関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日常の会話や表情などから利用者の希望や思いを把握するよう努めている。意思疎通が困難な方は家族や関係者から得た情報をもとに利用者本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の思い・要望などを介護計画に反映している。職員間ではカンファレンスやアセスメントの段階から全員で意見交換を行い、気づきやアイデアなどを計画内容に活かしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は期間や利用者の状態の変化に応じて随時、見直している。カンファレンスでは利用者の最新情報を関係者間で話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の状況に応じて通院介助など柔軟な対応を行っている。また認知症対応通所介護やショートステイを実施し、入居待ちの利用者や自宅生活が困難な方に対する支援を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者や家族が希望するかかりつけ医への受診を支援している。また協力医による2週間に1度の訪問診療や日頃の健康管理、緊急時の対応、相談などあり、適切な医療を受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期にはそのつど医師の説明を受け、家族の希望によりターミナルケアに取り組んでいる。しかし入居の段階から、利用者や家族、医師、職員間において方針を共有するまでには至っていない。	○	入居時などの早い段階から重度化した場合や終末期のあり方について関係者間で話し合い、方針を共有することが望まれる。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者のプライバシーを尊重し、食事時の支援や介助時には言葉遣いに注意して穏やかで優しい支援が行われている。また個人情報利用目的が定められ、文書化し職員に共通認識を図り、厳重に取り扱われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩や入浴などはその時の利用者の体調や気持ちを尊重し、一人ひとりのペースにそって支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付けなどは利用者の力を活かしながら支援している。利用者と職員は同じテーブルを囲み、和やかで楽しい雰囲気ですべて食事をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は無理強いせず、言葉かけを工夫しながらくつろいだ気分に入れるよう支援している。また利用者の希望によりいつでも入れるようになっている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの得意なことや楽しみごとを把握し、手芸やカラオケなど、本人の力量に配慮した気晴らしや楽しみごとが支援されている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	管理者や職員は利用者が事業所の中だけで過ごさないよう配慮し、季節毎の花見や外食、日々の散歩や買い物など積極的に外出支援を行っている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居間からベランダへは自由に入出りできるよう開放されている。しかし玄関を出るとすぐに交通量の多い道路に面しているため、安全面の配慮から玄関には鍵をかけ、自由に戸外に出られる場所がない。	○	安全に過ごせる工夫を全職員で話し合い、日中は鍵をかけないケアに取り組まれたたい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災マニュアルを作成し、年2回避難訓練を実施している。災害時の避難経路や避難場所、協力体制は母体法人と綿密な連携が図られている。しかし事業所として地域住民への協力を得られるような働きかけを行うまでには至っていない。	○	地域住民との日常的な連携をもとに事業所の構造や利用者像などを知ってもらうなど、協力体制を築けるよう取り組まれたたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	隣接する病院の管理栄養士がたてた献立を参考にして栄養バランスを考慮している。水分補給は居室にペットボトルを置いたり、食事時や食間に摂るよう勧めたりしている。しかし水分摂取量の記録が残されていない。	○	水分摂取量は確認して記録することが望まれる。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所と食堂、コタツのある畳の間が繋がっており、家庭的で落ち着いた雰囲気である。玄関には鉢植えや生け花が飾られ、生活感や季節感に配慮された居心地よい共用空間となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には鉢植えや家族の写真などが持ち込まれ、利用者が居心地よく生活できるよう配置されている。		